



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年7月31日

上場会社名 株式会社イーグランド
 コード番号 3294 URL <http://e-grand.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月5日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 江口 久
 (氏名) 白惣 考史
 TEL 03-3518-9779

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,574	1.6	212	7.5	164	8.6	110	6.5
2019年3月期第1四半期	4,502	2.7	198	40.9	151	47.0	103	47.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	17.49	17.22
2019年3月期第1四半期	16.41	16.16

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	18,508	6,766	36.3
2019年3月期	17,879	6,775	37.6

(参考)自己資本 2020年3月期第1四半期 6,720百万円 2019年3月期 6,730百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		19.00		19.00	38.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		19.00		19.00	38.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,125	26.9	635	76.1	490	89.7	335	90.2	53.22
通期	22,800	25.4	1,350	49.3	1,060	47.8	725	48.2	115.17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	6,362,000 株	2019年3月期	6,362,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	66,800 株	2019年3月期	66,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	6,295,200 株	2019年3月期1Q	6,295,200 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因で大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益を背景に雇用や所得環境の改善が続いており、全体として景気は緩やかな回復基調で推移しました。その一方で、各国間の貿易摩擦問題や中国経済の減速感が世界経済に大きな影響を与えており、金融資本市場の変動や2019年10月に予定されている消費増税により、景気の先行きは不透明な状況となっております。

当社が属する中古住宅流通市場におきましては、公益財団法人東日本不動産流通機構（東日本レインズ）によると、首都圏の中古マンション成約価格は、2019年1月に73ヶ月ぶりに前年同月を下回りましたが、その後も価格の上昇傾向は続いており、また、成約件数も高い水準で推移しております。

当社の主たる事業である中古住宅再生事業におきましては、利益率の確保に重点をおき物件を厳選する仕入方針を継続しておりますが、競合の増加、価格の高騰、競売市場の縮小等による厳しい仕入環境が依然として続いております。このような市場環境の下、当社では横浜支店と関西支店における任売仕入が順調であったことから、当第1四半期累計期間における居住用物件の仕入件数は、前年同四半期累計期間の217件から229件（前年同四半期比5.5%増）となりました。

販売につきましては、当社の全ての事業拠点において前年同四半期を上回るペースとなっており、当第1四半期累計期間における居住用物件の販売件数は、前年同四半期累計期間の218件から231件（前年同四半期比6.0%増）となりました。利益面については、販売において平均保有期間の改善のため長期保有物件を中心にした価格の大幅な見直しを実施しつつも、仕入における利益率重視の方針が奏功した結果、売上総利益率は前事業年度の15.3%から15.5%となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は4,574百万円（前年同四半期比1.6%増）、営業利益は212百万円（同7.5%増）、経常利益は164百万円（同8.6%増）、四半期純利益は110百万円（同6.5%増）となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

<中古住宅再生事業>

中古住宅再生事業におきましては、居住用物件による売上が4,453百万円、収益用物件による売上が18百万円となり、物件販売による売上高は4,472百万円となりました。また、収益用物件の保有期間中の賃貸収入は51百万円となりました。その結果、当第1四半期累計期間における中古住宅再生事業の売上高は4,538百万円（前年同四半期比2.2%増）となりました。

<その他不動産事業>

その他不動産事業におきましては、賃貸用不動産の賃貸収入等によって、当第1四半期累計期間における売上高は36百万円（前年同四半期比40.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における流動資産は、16,646百万円となり、前事業年度末の15,994百万円から651百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が267百万円、販売用不動産が1,074百万円増加した一方で、仕掛販売用不動産が1,013百万円減少したことによります。

当第1四半期会計期間末における固定資産は、1,861百万円となり、前事業年度末の1,885百万円から23百万円の減少となりました。これは主に、有形固定資産が17百万円減少したことによります。

当第1四半期会計期間末における流動負債は、8,249百万円となり、前事業年度末の7,634百万円から615百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金が524百万円、1年内返済予定の長期借入金が60百万円、未払法人税等が14百万円増加したことによります。

当第1四半期会計期間末における固定負債は、3,492百万円となり、前事業年度末の3,469百万円から23百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金が27百万円増加したことによります。

当第1四半期会計期間末における純資産は、6,766百万円となり、前事業年度末の6,775百万円から9百万円の減少となりました。これは、利益剰余金が9百万円減少したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度（2020年3月期）の通期業績予想につきましては、2019年5月10日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,447,642	3,714,707
売掛金	—	600
販売用不動産	8,365,198	9,439,473
仕掛販売用不動産	3,819,396	2,805,897
貯蔵品	914	791
その他	361,518	685,163
貸倒引当金	△1	△5
流動資産合計	15,994,668	16,646,629
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	1,728,178	1,710,450
有形固定資産合計	1,728,178	1,710,450
無形固定資産	7,161	6,505
投資その他の資産		
その他	150,224	145,109
貸倒引当金	△338	△337
投資その他の資産合計	149,886	144,772
固定資産合計	1,885,227	1,861,728
資産合計	17,879,895	18,508,357
負債の部		
流動負債		
買掛金	334,097	325,029
短期借入金	6,363,070	6,887,238
1年内償還予定の社債	44,000	44,000
1年内返済予定の長期借入金	634,688	694,758
未払法人税等	46,701	61,305
賞与引当金	—	29,692
完成工事補償引当金	12,003	12,043
その他	199,759	195,567
流動負債合計	7,634,319	8,249,636
固定負債		
社債	1,272,000	1,266,000
長期借入金	2,088,084	2,115,267
役員退職慰労引当金	66,893	66,893
その他	42,684	44,181
固定負債合計	3,469,662	3,492,342
負債合計	11,103,981	11,741,978

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	832,495	832,495
資本剰余金	813,417	813,417
利益剰余金	5,130,180	5,120,645
自己株式	△46,042	△46,042
株主資本合計	6,730,051	6,720,515
新株予約権	45,862	45,862
純資産合計	6,775,913	6,766,378
負債純資産合計	17,879,895	18,508,357

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	4,502,755	4,574,718
売上原価	3,842,233	3,863,427
売上総利益	660,521	711,291
販売費及び一般管理費	462,485	498,485
営業利益	198,035	212,805
営業外収益		
受取利息	32	32
受取配当金	1,251	1,151
契約収入	1,500	250
その他	917	135
営業外収益合計	3,701	1,569
営業外費用		
支払利息	36,860	35,919
支払手数料	12,982	13,480
営業外費用合計	49,842	49,399
経常利益	151,894	164,975
税引前四半期純利益	151,894	164,975
法人税、住民税及び事業税	36,516	54,818
法人税等調整額	12,050	83
法人税等合計	48,567	54,902
四半期純利益	103,327	110,073

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

当社は不動産事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

当社は不動産事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。